

# 悪沢岳～赤石岳

2011 年 7 月 30 日～8 月 2 日

Report by 吉松

8 月 1 日（月）快晴のち雨

千枚小屋の仮小屋は火の用心のためにストーブも無く、到着して暫くは随分肌寒い思いをした。その寒さの所為で、青木さんは風邪をひき体調を崩してしまったようだ。夕食を取ってやっと体の中から暖かくなってきた気がした。

泊り客はまばらだったため、寝る場所は広々としている。小屋に用意してある布団は真新しい寝袋で、それにすっぽり潜り込むとポカポカとしてきて朝までゆっくり寝ることができた。



4時に部屋の灯りがついた。外はうっすらと明るくなり始めている。千枚小屋の夜明けだ。小屋から出てもそれほど寒くはない。遠くには富士山のシルエットが浮かび上がり、幸先の良さを予感させてくれた。

早立ちの登山客は早速出立の準備に取り掛かり、朝食もとらずに小屋を出て行った。我々はしっかり温かい朝食を食べてから出発する計画だ。



日の出は4時56分。雲海が広がり、その上に富士山の偉容がいよいよくっきりと現れた。南アルプスから望む富士はかなり近くて大きく見える。昨日は霧でよく見えなかったお花畑も、小屋の周りにびっしりと広がっていた。



今日目指している小赤石岳（右）と赤石岳（奥左）も姿をあらわした。



5時朝食。

デザートにバナナまでついた豪華な朝食をしっかりと食べて体力をつけた。朝食をとったのは我々4人と、大分県からはるばる南アルプスに来た2人組みだけだ。

調子があれば当初宿泊予定の赤石岳避難小屋から更に足を伸ばして、百間洞山の家まで行くつもりでいる。沢山食べて歩行時間10時間の長丁場に耐えなければならない。



5時50分、いざ出発！

（＊吉松のTシャツは勿論クマさん会15周年記念のもの）





北アルプスに比べて森林限界が300mほど高いとのこと。

2600m辺りにある千枚小屋からは木の背丈も低くなって富士山の遠望が可能だ。高山植物も現れ始める。



クルマユリ



エゾシオガマ





チシマギキョウ



約50分で千枚岳（2880m）山頂に到着。

途中のガレ場には、赤石の由来ともなっている赤い岩や石が見られる。  
小野寺さん謹製のクマさん会旗を広げて記念写真をパチリ。空が真っ青だ。



これから向かう、丸山（右）と荒川東岳（悪沢岳）も良く見えている。

天気が良いのでひと歩きで到着しそうに錯覚するが、そうは間屋が卸さない。





チシマギキョウ



イワベンケイとイワオウギ



?





タカネマツムシソウ

(低山のものより花が大きく、色が濃い)



アルペンムードの尾根道に行く。

近いように見えていても、しっかり歩かなければならない。



タカネコウリンカ<高嶺高輪花>

(準絶滅危惧種)





途中の這松でライチョウに遭遇。  
子どもを5羽ひきつれて、餌をつついていた。

警戒して我々との間合いはしっかりとっているが、あまり人を恐れない。

（山小屋の主人の話によると、昔々は捕まえて食う者がいたとのこと。

しかし、寒い冬を越えるために羽毛が厚く、意外と身は痩せていて食うところはあまり無いらしい。）



イワツメクサ



朝は雲一つ掛かっていなかった富士山  
山頂に、雲が立ち登り始めた。

雲海も少し高度を上げてきたようだ。



丸山（3032m）を通過。  
ついに3000mを超えた。



丸山から荒川東岳（悪沢岳）までは、  
ガレ場、岩場を下ったり登ったりの  
連続で、簡単には到着しない。



途中にあった奇岩。遠くからは、  
ここが山頂かと思っていたが、  
山頂はまだ先だ。





岩場を縫うようにして悪沢岳までの登山道が続いている。  
この赤岩が赤石の由来で、ラジオラリア（放散虫）の化石だという。



雲が更に上がってきたようだ。  
富士山の中ほどにも雲がかかってきた。



8時50分、荒川東岳（悪沢岳）  
3141mに立つ。  
今回の登山では最高峰である。  
日本で6番目の高さを誇っている山だ。  
因みに赤石岳は7番目だ。  
朝方は真っ青だった空に雲がかかり始めた。  
残念だが、360度の眺望はちょっと楽しめない。  
雲の動きに、これからの天候にいささか不吉な予感がよぎる。



中岳避難小屋を横目に見ながら先を急ぐ。



中岳（3082m）を経て、  
次なる目的地、荒川小屋を目指した。



途中、三伏峠方面の分岐を通り過ぎたが、  
荒川前岳の山頂は、ここから数分三伏峠  
方向に行ったところにある。  
気付かずに通り過ぎてしまった。



鹿の食害を防ぐネットが張られたところ  
が数か所ある。

ネットの内側はお花畑が広がっている。



シナノキンバイとハクサンイチゲ



テガタチドリ







クロユリ



荒川小屋に 11 時 55 分着。

ここで昼食。温かいラーメンがうれしかった。たかがラーメンと言うなかれ。山小屋のラーメンは格別の味がするのだ。

ちょうど昼食を食べている最中に雨が降り出し、瞬く間に本降りになってきた。我々はついていた。

歩行中に降られていたらびしょ濡れだった。

小屋でしっかり雨対策を施して出発。次なる目標は赤石岳だ。



雨の中の赤石岳は遠かった。

地図には“稜線の空中散歩”などと書かれているが、我々は大聖寺平、小赤石岳をひたすら黙々と歩いた。

「小赤石岳を過ぎたらもうすぐだ」との堀さんの言葉が空しかった。

「歩かないと目的地には着かない」という堀さんの言葉だけが真実だった。

そして、15 時 50 分、やっと赤石岳山頂に到着。雨に濡れるリュックから、無理やりクマさん会旗を引っ張り出して記念写真を撮った。

山頂から一分ほどで、16 : 00 赤石避難小屋に到着。百間洞山の家まではとても行けそうにない。

ここで宿をとることにした。

小屋守りの夫婦が実に気持ちのいい人で、濡れものを干す手伝いまでしてくれ、温かく我々を迎えて



くれた。しかも4人で貸し切りだ。

奥さんがハーモニカを持ちだしてきて、3曲披露してくれた。主人は我々の焼酎に付き合ってくれた。

お陰でぐっすり眠れた。

---